

Vol.36
2018 SUMMER

ISSUE

[繋ぐ]

広げる Special Issue:

1枚の紙から生まれるいのち 「ペーパー・インセクト」

辿る 段ボールづくりのプロが考案した
コミュニケーション・ツール「段ブロック」

作る 細長い紙を使ったユニークな折り紙
三木康生さんの「オリマルくん」

広げる P01

1枚の紙から生まれるいのち
「ペーパー・インセクト」

深める P06

KPPの最新ニュースを
キャッチアップ

辿る P09

段ボールの長所が詰まった
紙製玩具「段ブロック」

伝える P11

豪胆な日々を追憶させる
巨匠監督から届いた葉書

使う P13

プロ必携の知識が満載!
「デザインのひきだし」

作る+ P14

長細い紙から作る
動物折り紙「オリマルくん」

訪ねる P15

紙の魅力を体感できる
「ペーパーイベント・カレンダー」

作る 付録

デスクに清涼感と癒しを運ぶ
「折り紙ペンギン(オリマルくん)」

1枚の紙から生まれるいのち 「ペーパー・インセクト」

透明なケースのなかで息をひそめる、本物と見まごうばかりの昆虫たち。

1枚の紙から切り抜かれた自然界の小さな生き物が

生の喜びや夢さを語りかけてくる繊細で詩的な小宇宙は、
精巧さやリアルさを超えた魅惑的な美しさを纏っています。

これらを生み出したのは、デザイナーとしても活躍する小林和史さん。

1ミリ幅の紙を16等分できる驚異の技術と色彩感覚によって

紙にいのちを吹き込む小林さんの作品は、

当たり前の日常で見落とされがち大切な何かに気づかせてくれる

根源的なメッセージを宿しているのです。

僕自身の自然観を投影させた 異次元の物語を感じてほしい。

小林 和史さん Kazushi Kobayashi

1983年(株)三宅デザイン事務所入社。ファッションデザイナーとしてパリコレクションや空間演出などに携わったのち独立。2001年に「outsect」を設立し、コスチュームデザイン、空間演出、舞台、映像、CMなどのトータルデザインを手掛ける一方で、メゾン・エルメス、SONY、高屋T-SITE、高屋家電などの美術、アートディレクションに携わるなど、ジャンルを超えたアートワークに従事する。また、昆虫をテーマにした造形作家として国内外のギャラリーで個展を開くなど、精力的な活動を展開。2001年に、第24回伝統／日本の象牙彫刻展「上野の森美術館賞」受賞。

HP: www.outsect.com



(左)小林さんが幼少期に観察していた、お父さんの昆虫標本。(右)小林さんが8才の時に制作した作品。この頃には基本的な造形の技術が完成していた。



『朝露 -Morning dew- (1998年)』
エミール・ガレ作のガラス器とコラボした作品。

●小林さん「朝露に濡れ寒さに耐えるトンボも、やがて朝陽を受け乾いた羽で秋の空を駆ける。これは人の人生にもあてはまる様だと思う」。



木々をすり抜ける心地よい風がわたり、野鳥のさえずりが響く。澄み切った空気と新緑に囲まれた東京郊外の里山に、小林和史さんのアトリエがあります。5年ほど前に都心から移り住んだというアトリエに招き入れられると、エスプリ薫るアバルトマンを思わせる空間に、アンティーク調のインテリアと丁寧に使込まれた道具一式が規則的に並べられ、外光が生み出す柔らかい陰影が、奥行きのある美しい佇まいを見せています。

壁面に表装された額やテーブルに配置されたガラスケースには、孵化したばかりのセミや朝露に濡れた糸のうえで息を潜めるクモ、鱗粉が舞いそうな繊細な羽を持つチョウなど、今にも動き出しそうなほど精微で美しい昆虫たちが収められています。これらの一見、標本のように見える昆虫たちは、一枚の紙とハサミから生み出された造形作品というから驚きです。

作者の小林和史さんが紙を使って昆虫アート作品をつくりはじめたのは、3才の頃。昆虫採集を趣味にしていた父親の標本コレクションを眺めているうちに、紙で昆虫の立体作品をつくるようになったそうです。「実は、10才くらいまで重い小児喘息を患っていたので部屋で過ごすことが多く、作品づくりは発作が出ているときの気晴らしでした。苦しくて眠れない夜などは、集中して作業をすればするほど発作が楽になったので、僕にとってはハビリアの一種だったわけです」。身近にあった紙と大人用のハサミを使い、壁に飾られた標本を見本としてはじめた作品づくりは、症状を和らげるための習慣に。また採集旅行から戻った父親が聞かせてくれる土産話に自分自身を投影し、生きた昆虫の姿を想像することで自然への興味を広げていったそうです。「喘息という病気は、季節や気温の変化に敏感に反応するもの。体調に直結するので、当時から自然環境に聞き耳を立てる感覚が培われたのかもしれないね」。

小林さんは、病を克服した後も作品づくりを続けていましたが、「正直、将来これを仕事にしようとは思っていなかった」ため、デザインの世界へ進むことを決意。イッセイミヤケのファッションデザイナーとしてパリコレクションに携わった後に独立し、映画や舞台などのコスチュームデザインや美術演出を担当。そのほか商業施設の空間演出、さらにはCM・映画などの映像制作まで、幅広い分野でその才能を発揮し、世界の第一線で活躍を続けています。「幼少の頃に病気という負担を抱えたことが、その後の表現活動に大きな影響を与えました。自然をいつも身近に感じていたし、自然の縮図ともいえる昆虫の視点に立つて物事を考えていたので、ほかの人にはない感覚が身についていたのかもしれない。例えばファッションデザイナーであれば、昆虫や植物の持つ多種多様なテクスチャーや色彩がオリジナルの発想につながっていたし、生と死が常に隣り合わせに存在する自然界ならではの神秘的な美しさや儚さ、死生観など、人間社会ではなく自然の世界に重心を置いていたからこそ得られた価値観もたくさんあったと思います」と小林さんは話します。

すでにライフワークとなっていた創作活動に転機が訪れたのは、小林さんが28才の時。ご本人が「評価に値するものとは思っていなかった」作品を賞賛するギャラリー関係者の薦めもあり、初めての個展を開催。その後も来場者の好評価に応えるように次々と新作を発表し、国内はもとよりドイツ、ベルギーでも個展を開催するなど、精力的な作家活動を展開しています。「1998年には、熱海市にあるサンクリノ美術館の企画として、エミール・ガレのガラス作品とのコラボレーション展示をさせていただきました。ガレについての文献を調べていくと、彼は日本の高官(高島得三氏)から水墨画を学ぶなど日本の美術文化の影響を受けていたし、自然の摂理と向き合う考え方にも共感できました。時を超えて120年前の作家と語り合えたことは貴重な経験でしたね」。

▶ 国際紙パルプ商事株式会社は、6月26日をもって、東京証券取引所市場第一部に新規上場いたしました。

国際紙パルプ商事株式会社 KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

証券コード：9274 東証第一部



2018年6月26日、当社は東京証券取引所市場第一部に新規上場いたしました。ここに謹んでご報告申し上げますとともに、お客さま、取引先さま、株主のみならずすべての関係者のみなさま方のご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

1924年の創業以来、紙とその周辺素材を中心とした事業展開によって成長を持続してきた当社は連結子会社20社、関連会社12社、約1,000名の社員を擁する企業グループです。

国内トップクラスの紙の販売と紙の原料となる古紙の回収・販売を通して、森林資源の有効活用となるリサイクルを推進し、事業活動を通じて環境課題の解決に努めています。

日本には和紙があります。また、明治以降は洋紙と呼ばれる紙によって私たち日本の文化は大きく向上してきました。通販で使われる段ボールなど、今や紙は生活のさまざまな場面で利用されている素材でもあります。当社は、紙の持つ可能性はまだ大きい、

と考えています。そこで、当社は今後も広報誌「TSUNAGU」を通して、紙の素晴らしさをみなさまにお伝えし続けるとともに、持続的な事業成長によって企業価値の向上に努めてまいりたいと考えています。今後とも、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- 会社名:国際紙パルプ商事株式会社
- 代表者名:代表取締役 社長執行役員CEO 田辺 円
- コード番号:9274 東京証券取引所第一部

※新規上場に関する詳細につきましては、東京証券取引所のウェブサイト (www.jpx.co.jp/listing/stocks/new/index.html) をご覧ください

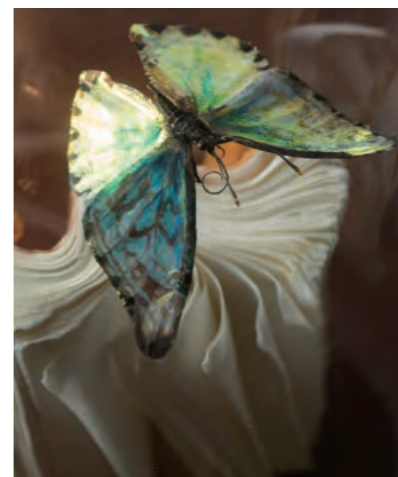
【本件に関するお問い合わせ】
経営企画本部 経営企画部 IR・広報課
TEL:03-3542-4169

そのほか、2016年には百貨店のワンフロアを使って商品とともに作品を展示する、空間全体を活かした展示会を開催するなど、既成概念にとらわれない新たな試みにも積極的に挑んでいます。「僕の作品は自然の舞台を演出しているようなものなので、作家の思いを超えているような方の記憶に行き着けばいいなと思っています。観てくれた方の声や感想が僕自身の救いにもなるし、次の作品づくりにつながるメッセージにもなっています。小林さんの個展は、人々の思いや記憶、多様な価値観を媒介する役割を担っているのです。」

小林さんの作品はすべて、一枚の紙から必要な部分のみを切り抜いて立体にし、着色したもの。昆虫は左右対称の構造がゆえにまずは紙を2つ折りにして重ねて切り、空洞となる体躯に膨らみをもたせるように瑪瑙^{マノウ}を使って丸みを出していきます。「デッサンなどの下描きをすることなく、「一気に紙を切っていく」です。それは、ハサミは一枚の刃で挟んで切るのではなく、時間をかけると2枚の紙に微妙な誤差が生じてしまうため。重ね書きしない書道に近い感覚です」。使用するハサミは、4才の時に母親が買ってくれたもの。先端が鋭く、刃が薄くハサミと、1ミリ幅を16等分できるという驚異の技術、幼少から刷り込まれた昆虫の構造についての記憶によって、昆虫の複雑な関節や足先の割れ目まで正確に再現していきます。「僕がつくりたいのは精巧な模型ではなく、あくまでも生きている姿を表現したいので、同じ昆虫でも毎回切り方が違います。昆虫もすべて異なるように、型やスタイルを決めてマニュアル化するのには、僕のなかで何か違う気がして」と小林さんは話します。

そんな小林さんのこだわりは、材料の紙選びにも。「子どもの頃は文房具店にあるものを使っていました。その頃から昆虫の自然な質感に近い紙を選んでいましたが、次第にそれは飽き足らなくなり、最近ではさまざまなテクスチャーの紙を合わせて使っています。またトレーシングペーパーや薄くて丈夫な和

『記憶のカタチ-Shape of the Strage-(2017年)』
●小林さん「本のページは記憶の構造に重なる。それらは時間の積み重ねでもあり、忘却の彼方に存在する。しかし、蝶の羽はたぎのように気まぐれな風によってページはめくれるように、記憶は不意に蘇ってくるものなのだ。」



『廻-Misty Rain-(2015年)』
●小林さん「水の化身である蜻蛉は、蜘蛛の巣に架かり瀕死の状態にもかかわらず、その生は雨に濡れて最高潮にその輝きを増している。生命の本質はそのものを観ても解らないものであり、間接的なもの、隣人を通してその本質が映るのだと思ふ。」



『廻-KAI/Cycle-(2017年)』
●小林さん「蝉は樹木の化身であり、人生のほとんどを地中の根とともに闇の中で過ごす。やがて愛を奏でる為に幹を這い上がり、羽を得て大空へ舞い上がる。彼らにとって樹木は生命の時間軸でもあるはずだ。」

小林 和史さんの個展

01 / 神楽サロン 伊勢外宮前 常設展示

- 会場:神楽サロン 伊勢外宮前 通信館 (三重県伊勢市本町20-24)
- ※開館日、開館時間は下記HPにてご確認ください。
- 入館料:シーティングチャージ500円
- 問い合わせ:TEL.03-6265-0580
- HP:www.kagurasalon.com

02 / 小林和史 2018 個展

- 開廊日:10月13日(土)~21日(日) ※火曜休廊
- 会場:画廊 翠巖(すいらん) (群馬県前橋市文京町1-47-1)
- 問い合わせ:TEL.027-223-6311
- HP:www.suiran.com

紙も使用していますが、毎回スタイルを変えるようにしているので、銘柄は忘れちゃうんですよ(笑)。どんな紙に出会えるかも、作品づくりの大切な要素ですから。着色に使う画材にもルールをつくらず、油絵具や水彩絵具、テンペラ絵具など、その時の感性に合ったものを柔軟に選んでいるそうです。

地球上に生息する昆虫の種類は、未知の種を加えると500万種とも1000万種とも考えられ、その多様性に満ちた昆虫たちが、われわれの環境を支え続けています。人間が自分たちの世界を見ているのと同じように、昆虫には昆虫の世界があり、人間はその一部を認識しているに過ぎないのかもしれない。「たとえ忙しく街中を歩いているとき、肩にとまった TENTOUMUSHI を見つけたとき、我に返ったりしますよね。昆虫は、普段の生活に句読点を打つように、自分の原点やものごとの本質について間接的に気づかせてくれる存在だと思ふんです」。インフラや境界、先入観や思い込みを持たない彼らの視点から世の中を見つめてみると、人生を豊かにするためのヒントや、新しい価値観を得られるかもしれません。

▶ 薬包向けエコ・プレスバインダー
「トジスト」の販売を開始

複数の薬包を簡単・安全・効率的に綴じることのできる、薬包とじ機「トジスト」の販売を開始しました。医療現場においては、複数の薬を服用する患者さまに薬を1回ごとに束ねて提供されますが、ステープラー(ホッチキス)やテープの場合、針の誤飲や指先のケガ、薬包の破損や脱落などのリスクが問題視されていました。この「トジスト」は、当社のエコ・プレスバインダーの技術(独自の凸凹の歯型によって複数の薬包を結着する)により、針やテープ、のりなどの消耗品は不要。事故のリスク回避はもちろんのこと、服用する際には綴じた線に沿ってきれいにはがすことができるので、患者さまの満足度向上にも効果的です。また、連続加工が可能のため作業効率も高く、医療従事者さまの負担軽減にもつながります。まずはお気軽にお問い合わせください。



■製品仕様

サイズ	W155×L275×H150mm
重量	7.5kg
電気容量	単相 100V/20w
速度	[50Hz] 1秒間に約40mm [60Hz] 1秒間に約48mm

■使用方法

- ①複数の薬包を重ね、上端をそろえます。
- ②レールにある溝の奥まで差し込みます。
- ③フットスイッチを足で踏みます。
- ④薬包が歯にあたる位置までスライドします。
- ⑤レールの奥面に軽くあて綴じ部分が歯の間に挟まれると、薬包は自動的に左へ流れます。

【「トジスト」の使用法は、動画でもご確認くださいませ。

PC : www.kppc.co.jp/ja/service/solution/other.html

スマートフォンは右記のQRコードを読み取ってください。使用法の動画はこちらからご覧いただけます。

製品に関するお問い合わせ

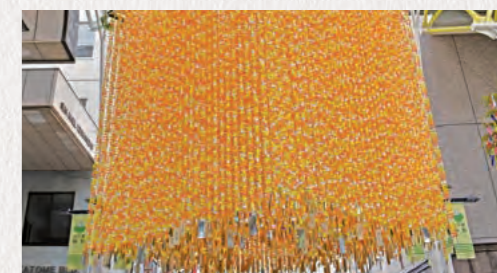
営業推進営業本部 営業推進部 機能商品課
TEL:03-3542-4170 MAIL:tojist@kppc.co.jp

※本誌の製本にもエコ・プレスバインダー(特許取得済み)が使われています

▶ 仙台七夕の折鶴から生まれた再生紙
「仙臺七夕祈織~2017」を発売

この度、当社関係会社である鳴海屋紙商事(宮城県仙台市)が、仙台七夕の折鶴飾りを利用した再生紙「仙臺七夕祈織~2017」を発売しました。2011年の東日本大震災の発生以降、仙台市内185校の小中学校に通う児童・生徒約8万8千人が、震災復興の願いを込めて1人1羽の折鶴を作成。毎年8月6~8日に開催される仙台七夕まつりでは、この約8万羽の折鶴から成る全長4.5メートルほどの吹き流しを、仙台七夕の象徴として設置しています。鳴海屋紙商事では、この折鶴の吹き流しを回収したのち、使用した糸、ストロー、針金等の部材を手作業で除去し原料化。子どもたちの復興への願いが込められた、東北、仙台ならではの再生紙に生まれ変わらせることで、震災の風化を防ぐ狙いがあります。

この「仙臺七夕祈織」は、実際の折鶴飾りを使用するため、数量に限りがあります。また、色とりどりの紙が漉き込まれているため、一枚一枚の柄と色合いが異なるのも魅力のひとつです。鳴海屋紙商事では、折鶴を折った小中学校の児童・生徒のみなさんの卒業証書にこの「仙臺七夕祈織」を使用できないかと考えています。また、この商品の収益金の一部を教育活動に役立てていただくために仙台市教育委員会に寄付することも検討しています。



仙台市内の小中学生による折鶴の吹き流し。



仙臺七夕祈織を使用したカレンダー。漉き込まれた折鶴によって、色柄が異なる。

製品に関するお問い合わせ 鳴海屋紙商事(株) TEL:022-235-2121

■活用事例①

「こくばん七夕ノート」(産学共同開発商品)



児童・生徒の学力向上に役立てると同時に、震災復興への思いの継承、仙台七夕への愛着を育んでもらうことを目的として、尚絅学院大学の松田道雄教授、孔栄社、鳴海屋紙商事が共同で開発した学習ノート。授業の内容を思い返しやすくするために、黒板を縮小した横長の形状になっています。ノートの表紙と裏表紙に「仙臺七夕祈織」を使用。

■商品仕様

・10mmマス(中学年用・学用3号259×179mm)
・24mmマス(低学年用・学用3号259×179mm)
各216円(税込)

オフィスベンダー宮城県内5店舗、インターネットショップ(www.office-vender.com)にて販売中

■活用事例②

「羽生結弦選手への表彰状」



写真提供:仙台市

仙台市出身の羽生結弦選手が、平昌(ピョンチャン)冬季五輪のフィギュアスケート男子シングルで金メダルを獲得し、前回ソチ大会に続く五輪連覇を達成。今年4月22日に開催された祝賀パレードの出発式で仙台市長から贈呈された表彰状にも、「仙臺七夕祈織」が使用されました。

DEVELOPER INTERVIEW



「段ブロック」を開発した佐貞商店・佐藤亘社長(右)と鳴海屋紙商事の鳴海幸一郎営業部長。

(有)佐貞商店は1950年の創業以来、梱包用段ボールの製造を行っていましたが、東日本大震災を機に、私たちのつくる段ボールが担う社会的な役割について、真剣に考えるようになりました。そんなとき、娘が通う幼稚園の発表会で、子どもたちが私の寄付した段ボールを使って思い思いの立体物をつくる様子を見て、段ボールがいろいろな形に変形できることにあらためて気づかされました。その後、同じ保護者同士で親交のあった東北大学工学部の先生から、燃料電池の模型を段ボールでつくりたいとの相談を受けて、試作品づくりに着手。製品化には至りませんでした。先生とのやりとりのなかで安価な段

「段ブロック」がわかる
開発秘話 **1**

ボールを教材として活用するヒントをいただき、段ボールのブロックを製品化することとなりました。

試作品が完成した後、NPO法人主催のイベントで「段ブロック」のデモンストレーションを実施。子どもたちと保護者が夢中になって遊んでいる姿を見て、単に“もの”を売るビジネスよりも、人が楽しんでくれる“場”をつくるのが重要だということに気づきました。その思いをいち早く理解してくれたのが、旧知の仲間である鳴海屋紙商事(株)の鳴海幸一郎さん。ものづくりを楽しむ場づくりを通してビジネスを展開するパートナーとして、「段ブロック」のファン拡大に協力していただいています。



「段ブロック」がわかる
4つの種類 **3**

- 1 レギュラー**
225×115×65mm / 65g
- 2 ハーフ**
115×115×65mm / 40g
- 3 トライアングルL**
115×115×115mm / 40g
- 4 トライアングルS**
115×115×60mm / 30g

「段ブロック」がわかる
6つの特長 **2**

- 1 コンパクト**
折り畳まれた平らな状態で運べるので、かさばらず、持ち運びにも便利です。
- 2 カンタン**
折り目によって組み立てるだけのカンタン構造。慣れると1個30秒ほどで完成します。
- 3 安全・安心**
ケガをしないように端がギザギザに加工されているので、小さい子どもでも安心です。
- 4 環境に優しい**
段ボールのリサイクル率は約97%。遊び終わった後も資源として再利用できます。
- 5 創造力を育む**
アイデア次第でさまざまなモノをつくることができ、子どもの豊かな創造力を伸ばします。
- 6 コミュニケーション**
世代を問わず、協力しながらものづくりが楽しめるので、自然と交流の輪が広がります。

「段ブロック」がわかる
活用事例 **4**



自治体が主催する地域交流イベントのアトラクションとして活用。さらには崩れても大きな音がしないことから、自動車ディーラーや住宅展示場など、大人が商談する場の託児スペースにも導入が進んでいます。また教育界からの注目度も高く、知育玩具や集団ワークの教材としての導入が検討されています。また子どもだけでなく全世代で楽しめるツールとして、高齢者施設でのレクリエーション、リハビリ施設での機能回復支援・改善など、多方面での活用が期待されています。

■製造元
(有)佐貞商店
宮城県塩竈市北浜4-3-8
TEL:022-365-3391
FAX:022-365-3393
satei-hako.co.jp
danblock.jp

■販売元
鳴海屋紙商事(株)
宮城県仙台市若林区卸町2-14-5
TEL:022-235-2121
FAX:022-239-4161
www.narumiya-k.co.jp

※「段ブロック」は、(有)佐貞商店の登録商標です。

今回のテーマ

段ブロック



段ボールのプロが考案した
コミュニケーション・ツール

誰もが小さい頃に経験したことのあるブロック遊び。さまざまな大きさや、形状のブロックを組み合わせていく創造力や、アタマと指先を駆使することで培われる集中力など、子どもの成長を促す知育玩具として、長く親しまれています。そして今、時代に合った新しいブロックとして注目されているのが、段ボールでできた「段ブロック」です。

4種類のブロックからなる「段ブロック」は、突起部分を別のブロックの切り込みに差し込むだけで簡単に組み立て可能。段ボールなのでブロックそのものが軽いのが特長です。そのため、小さな子どもでも大型のタワーや城塞など巨大作品にも安心して挑戦できます。また、段ボールのリサイクル率は約97%。廃棄後は新しい段ボールとして生まれ変わる、環境に優しい玩具であることも特長のひとつです。

この「段ブロック」を開発、製造したのは、梱包用段ボール箱の製造販売を手掛ける(有)佐貞商店(宮城県塩竈市)。三代目となる佐藤亘社長ご自身の娘さんが通っていた幼稚園で、子どもたちが自由に段ボールを加工して遊ぶ姿を見て、段ボール製玩具の制作を思いついたそうです。その後、佐藤社長の幅広い人脈を通して開発を進め、誰でも簡単に組み立てられる構造や、手を切るなどのケガを防ぐための波型カッティングなど、「段ボールのプロ」ならではの工夫を詰め込み、「段ブロック」を完成させました。

「段ブロック」は昨年3月のリリース以降、幅広い目的用途に用いられ、世代を問わず誰もが楽しめるコミュニケーション・ツールとして評判を集めています。誰にとっても身近な存在である段ボール。その未来には、まだ知られていない可能性が広がっているのです。

「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だというのが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

第十四回 今村昌平

今村昌平は優れた演出家であると同時に優れた営業マンでもあった。

「豚と軍艦」に「ぼん昆虫記」復讐するは我にあり「赤い殺意」「楢山節考」「黒い雨」「うなぎ」、日本映画史に残る監督作品は数おおいが、テレビドキュメンタリーに秀作があるのを知る人はすくない。

わたしは主として三十代のころ、東京のテレビ局の番組企画担当として今村さんとかなり親しくつき合い、テレビドキュメンタリーの秀作を何本か制作してもらった。細かなことは記憶にないが、今村さんを紹介してくれたのは当時今村プロダクションの社長だった高橋松男さんだった。最初の作品は後にテレビ大賞を受賞した「未帰還兵を追って」である。この企画は演出から編成というセクションに戻ったばかりのわたしに持ちこまれた。わたしは「金曜スペシャル」という番組のプランニングプロデューサーだった。親しいつき合いといつても、外でいっしょに食事をした記憶はない。もっぱら局舎のなかでのやりとりばかりだった。

企画の内容は、戦後も日本に帰国することを拒否してマレーヤタイに住み着いた旧日本兵を追うドキュメンタリーである。放送が昭和四十六年なので、今村さんが局に企画を持ちこんできたのはおそらくその年の早い時期か前年のことだった。

時間分たつぷりある、どうしても切れないと今村さんが強硬に主張して、結局マレー篇、タイ篇計二時間の枠で放送することになった。今村さんの作戦勝ち。倍近い制作費を支払うことになったのはいうまでもない。

今村さんは声がいい。説得力がある。ご自分でもそれを意識されていたのだろうが、この番組では二人称の語りもご自分でこなされている。並みのナレーターの声よりよほどいい。この番組の成功が、当時制作の場を失っていた映画監督のテレビ番組制作への進出を促し、監督自身の一人称の語りの火つけ役になった。

今村さんからの手紙は、年賀状三通しか見当たらない。一枚の日付は昭和四十八年、二枚が平成三年、そしてあと一枚が平成八年。亡くなったのが平成十八年

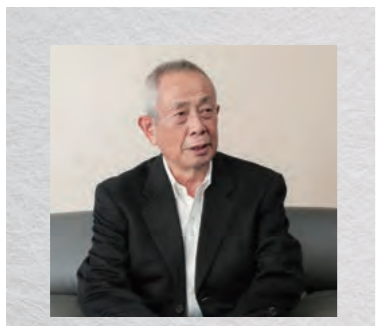
たに違いない。映画の斜陽化が進み映画監督が制作の場を失っていた時期である。いつも今村さんに私淑する助監督の武重邦夫さんといっしょだった。われわれ三人は大学の同窓で、しかもわたしは映画会社出身ということもあつて大監督には「目置かざるをえない立ち位置にあった。今村さんは雄弁で説明はよどみなかった。若造だったわたしには異論を唱える余地がなかったといつていい。

企画は無事部内を通過したのだが、最後に肝心の経理からいちゃもんがついた。「未帰還兵といつても撮影できるかどうか分からない。撮れなかったときにどうする」いわれてみればそのとおりだった。撮れなかったときには、部長と先輩の課長、それにわたしの三人が会社に制作費を補償すること最終的に話がついた。番組制作費を個人補償するなんて。考えてみれば自由の気に満ちたおもしろい時代だった。いまのテレビ界では多分あり得ないことだろう。

無事撮影を終えて帰国した今村さんとの間で、ひと悶着あつた。「未帰還兵」は今村プロとの間で二時間番組として契約していたのだが、内容が二だったので、亡くなる十年ほど前まで関係は細々と続いていたのだ。三枚目の年賀状には、「川島雄三のことなどお願いして恐縮でした」と添え書きがあるが、今村さんの師匠川島雄三監督のなにお願ひされたのかいまま思ひ出せない。

晩年まで映画を撮られていたが、一方で横浜放送映画専門学院(後の日本映画大学)の校長として人材育成のために情熱を傾けていらした。

懐かしく思いたされるのは、わが道を貫き恐れるものなかつた「未帰還兵」時代の今村さんだ。たしか「ブアンの海賊」というドキュメンタリーを撮るといふ頃のこと。今村組のスタッフがロケハンに行ったフィリピンのある島の洞窟で山下奉文將軍の埋蔵したといふ席をかぶった金塊の山を目撃した、偽装した大ロケ隊を編成してそれを持ち帰ろうとスタッフからさかんに声をかけられた。その噂の輪はまたたく間に広がり、業界の関係者が集まり、取らぬ狸の話を肴に夜な夜な飲み会を開いたものだった。わたしは義母が歯科技工士で金を扱う仕事をしてたことを理由にその処分役一役買うことを申し出、しばらくの間、金塊一本の分け前を頂戴して榮華を極める夢を見たりしたものだった。



著者略歴
うえむら ともね
植村 鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映を経てテレビ東京に勤務。同局常務取締役、(株)テレビ東京制作代表取締役社長等を歴任。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に「夏の岬」「気骨の人 城山三郎」など。

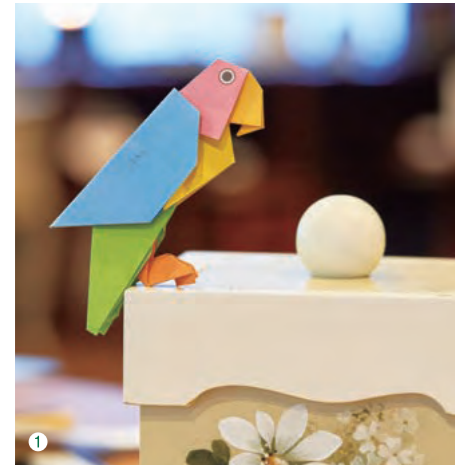
今村 昌平

映画監督
1926-2006



東京都生まれ。早稲田大学文学部を卒業後、松竹に入社し、小津安二郎監督らに師事。日活に移籍後、1958年に「盗まれた欲情」でデビュー。「復讐するは我にあり」「赤い殺意」「黒い雨」などの秀作を手がけ、1983年「楢山節考」、1997年「うなぎ」で、カンヌ国際映画祭・最高賞を2度受賞する快挙を成し遂げた。1975年に日本初の映画専門学校(現・日本映画大学)を設立、後進育成にも尽力した日本映画史に残る名監督の一人。

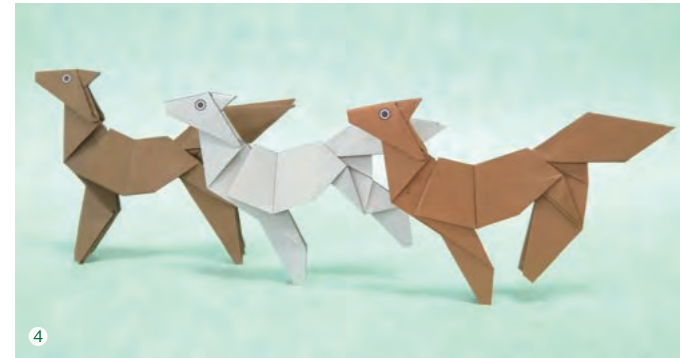
細長い紙から生まれる動物は約60種類！
創作折り紙「オリマルくん」の魅力とは？



Let's MAKE!

記事を読んだら付録のペーパークラフトを作ってみよう！

- ①オウム
- ②曲芸するアシカ
- ③今回の付録のペンギン
- ④駆ける馬
- ⑤フラミンゴ



——折り紙をはじめたきっかけは？

20代の頃、食事していた際、箸袋で折り紙をしたのがきっかけです。同席していた友人が箸袋を使ってリボンやネクタイ、蝶などを折っているのを見て、いろいろなものができそうだなと。それから独学でさまざまな動物を折ったりして楽しんでいました。

——それから本格的に折り紙に取り組みようになった？

ロンドンの百貨店に立ち寄った際、英語がわからずウロウロするだけの私をその場にいた親子がサポートしてくれて。そのお礼として、即興で犬と麒麟を折ってプレゼントしたんですけど、子どもがとても驚いてくれたし、喜んでくれた。周囲の人も集まり出したのを見て、折り紙には大きな魅力があることを、身をもって体感しました。それ以降、ますます折り紙にのめり込むようになりました。

——「オリマルくん」が誕生した経緯を教えてください。

50才を過ぎて仕事も少しずつ落ち着いてきたので、今までに考案した折り紙を作品として残そうと思うようになり、初期の作品を1点ずつ見直すことから始めました。ストックしていた作品から設計図データを作り、0.001mmの単位で調整をかけながら、より美しい形に仕上げるための試作を繰り返しました。ひとつの動物作品が完成するまでに、約200回の試し折りをしています。こうして生まれた動物作品は野生動物からペットまで、これまで約60種の作品が誕生しました。ちなみに「オリマル」という名称は、「ORIGINAL aniMAL Origami」から名付けました。

——「オリマルくん」の作品を考案する際に、こだわる点は？

もともと箸袋で折り紙を始めたこともありですが、コピー用紙など身近にある紙を使って作ることがこだわりです。モチーフにするのは、シルエットをただで子どもでも何かわかる動物を選んでますし、細い紙を折っていただけでかわい動物が出来上がる楽しさをたくさんの方に味わってほしいと思っています。

——最後に読者へのメッセージをお願いします。

私の作品には折り鶴のような法則性や幾何学的な理論はなく、自分の感性を頼りに繰り返し折っていくなかで生まれたもの。多少難しいと感じる部分もあるかもしれませんが、一人でも多くの方に出来上がったときの達成感、そしてさまざまな動物たちのかわいさを味わっていただきたいと思います。そのために必要なのは、「勇気」と「根気」でしょうか(笑)。



折り紙師
三木康生さん

みき・こうせい〇千葉県柏市在住。グラフィックデザイナーとして活躍する一方、趣味で始めた折り紙を創作折り紙「オリマルくん」として発表。不定期ながら折り紙教室も開催している。
f www.facebook.com/people/三木康生/100025697162768

INFO 2020年に作品展開催を予定

- 東京五輪の年にオリマルくんのかわいい動物たちが登場
- 会場：土屋グループ 銀座ショールーム
- 会期：2020年5月(予定)
- お問い合わせ：www.hometopia.jp/branch/ginza/

当社が運営する紙の総合サイト「Papermall」。その便利な機能やおすすめ商品などをピックアップして発信していきます。

第4回テーマ いま『デザインのひきだし』が熱い！

みなさんは『デザインのひきだし』という雑誌をご存知ですか？ プロなら知っておきたいデザイン・印刷・紙・加工の実践情報誌として2007年に創刊された『デザインのひきだし』は、号を重ねるごとにその存在感を増し、グラフィックデザイナーや印刷会社といった業界でプロとして仕事に従事する人のみならず、美大生やデザインを学ぶ学生、アートやデザインに興味のある一般の人たちに至るまで、情報感度の高い人々の間でその評価はうなぎのぼり。いまでは発売と同時に完売してしまうほどの人気です。

2月、6月、10月の年3回発行されるこの雑誌の最大の特徴は「毎号テーマが際立っている」こと。ときには和紙、ときには製本、ときには特殊加工など、号ごとにひとつのテーマに沿った誌面が展開されます。付録も大充実していて、本誌よりも厚いこともあるくらい。紙の可能性をとことん突き詰めた『デザインのひきだし』、ぜひ一度手に取って、ご覧になってみてください。



毎号テーマに沿ったこだわりの装丁も魅力の『デザインのひきだし』のカバーたち。左上から時計回りに、29号/30号/32号/33号/31号



デザインのひきだし34

NOW ON SALE!



34号では別冊「T&K TOKA 蛍光インキ掛け合わせ印刷見本帳」が付録としてついてくる。

「これなら使える！ オフセット印刷で特殊印刷100連発」を大特集。一番身近&省コストが可能なオフセット印刷のできる、あんな印刷、こんな注目の効果を徹底的にリサーチして掲載。連動する実物サンプルもこれでもか！ とついた完全保存版の1冊です。ご購入はPAPER MALLで！

PAPER MALL への
アクセスはこちらからどうぞ！

ペーパーモール 検索
www.kpps.jp/papermall/

携帯は
こちらから



スマホ対応になりました

2018年6月から、PAPER MALLはスマートフォンにも対応いたしました。いつでもどこでもお気軽に、1枚から紙が買えるペーパーモールをご利用ください！



Twitterも要チェック！

PAPER MALL公式Twitterでは、PAPER MALLサイトでのおトク情報のほか、TSUNAGU掲載アーティストの情報などもご紹介しています。

6/25(月)~8/24(金)

EXHIBITION

TSUNAGU GALLERY vol.7 仙台七夕飾り

仙台七夕まつりで使用される本物の笹飾りを、今年も本社エントランスにて展示しています。これは、当社関係会社である鳴海屋紙商事制作によるもので、職人の手作りによる豪華な笹飾りを間近でご覧いただけます。今年は、例年通りの仙台七夕飾りに加え、七夕飾りの起源となる伝統的な飾りも展示しています。見学ご希望の方は受付までお声がけください。



DATA

- 会場:国際紙パルプ商事本社1Fエントランス
- 料金:無料
- 問い合わせ:経営企画本部 IR・広報課
- TEL:03-3542-4169
- HP:www.kppc.co.jp

7/14(土)・15(日)

EVENT

紙博 in 京都 vol.2

雑貨やイラスト、文具、マテリアルなど、「紙もの」を扱う人気メーカー、作家が数多く出展する「紙」好きのためのイベント。商品の販売のほか、紙にまつわるワークショップや著名人のトークショーも開催されます。

DATA

- 会場:京都市勤業館みやこめっせ第3展示場A面
(京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)
- 入場料:500円(小学生以下無料)
- 問い合わせ:手紙社
- TEL:042-444-5367
- HP:http://kamihaku.jp/2018_summer/

7/26(木)~31(火)

EXHIBITION

IGAS2018 (国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展)

印刷とメディア、その関連産業の最新機材・技術・サービスが一堂に会する、3年ごとに開催される国際展示会。印刷およびクロスメディアをテーマにしたパネルディスカッション、セミナーも数多く用意されています。

DATA

- 会場:東京ビッグサイト 東ホール
(東京都江東区有明3-11-1)
- 入場料:無料(ただし事前登録が必要)
- 問い合わせ:事務局
- TEL:03-3434-2656
- HP:www.igas-tokyo.jp

8/6(月)~8(水)

EVENT

平成30年度 仙台七夕まつり

東北四大祭りのひとつに数えられる仙台夏の風物詩。10メートルを超える巨大な青竹に飾られた吹き流しや仕掛けものなど、豪華絢爛な笹飾りが市内各所に美しいアーチを描きます。約3,000本の美しい笹飾りが街を埋め尽くす様は、まさに絶景です。



DATA

- 会場:宮城県仙台市(市内全域、中央通り、一番町などの中心部)
- 料金:無料
- 問い合わせ:仙台七夕まつり協賛会(仙台商工会議所内)
- TEL:022-265-8185
- HP:www.sendaitanabata.com



仙台七夕まつり協賛会

10/2(火)~5(金)

EXHIBITION

TOKYO PACK 2018 (2018東京国際包装展)

包装資材・容器、関連機械を中心に、最新のトピックスを発信する国内最大の総合展示会。通常出展のほか、医薬品包装、通販・ギフト商品の包装、パッケージなど、特別展示企画も開設されます。

DATA

- 会場:東京ビッグサイト 東ホール
(東京都江東区有明3-11-1)
- 料金:無料(ただし招待状または事前登録が必要)
- 問い合わせ:事務局
- TEL:03-3543-1189
- HP:www.tokyo-pack.jp

※開館日、開館時間などは、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。おでかけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライスインキを使用しています。

エコ・プレス
バインダー

針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行:経営企画本部 経営企画部 IR・広報課
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号
TEL(03)3542-4111(代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>

作る

紙と触れ合い、モノを作る

「PAPERCRAFT on the DESK」

デスクまわりに清涼感と癒しを運ぶ

「折り紙ペンギン(オリマルくん)」

P14でご紹介した三木康生さんの創作折り紙「オリマルくん」を実際にご覧ください。

モチーフは、夏場のデスクまわりを涼しく演出するかわいい「ペンギンくん」。

複雑な部分もある反面、出来上がった時の達成感も得られるので、ぜひ挑戦してみてください。

かわいいペンギンくん、本のしおりなどにも使えますよ。

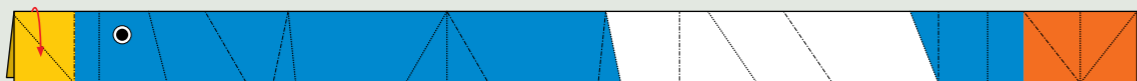
オモテ面

「作る」vol.36使用紙：雷鳥上質
(81.4g/m²／中越パルプ工業株式会社)
自然な色合いと素材で優しい肌ざわりが持ち味のオモテ面紙です。均一な地合いで印刷適性に優れています。

作り方

切りとり線に沿ってパーツを切り離したら、センターの折り線に沿って細長く半分に折ります。2つ折りの状態から、「頭」「胴体」「足元」を折り進めてください。

まず2つに折って
また開いて進めて



1 2つ折りにしたものを一度開き、口ばし部分の2カ所を内側に山折りします。

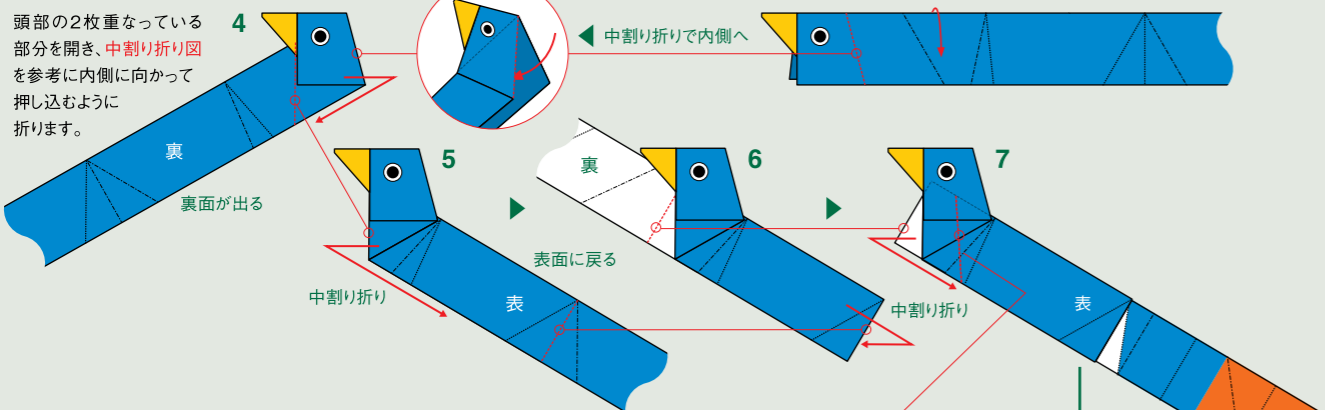
2 口ばし部分に頭部をかぶせるように折ります(かぶせ折り)。



頭部の2枚重なっている部分を開き、中割り折り図を参考に内側に向かって押し込むように折ります。

中割り折り図

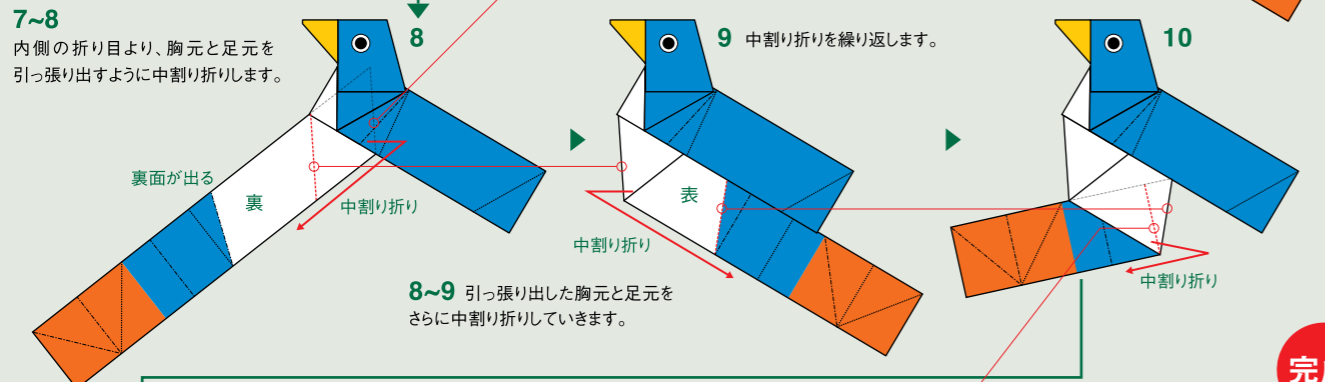
3 再び2つ折りにします。



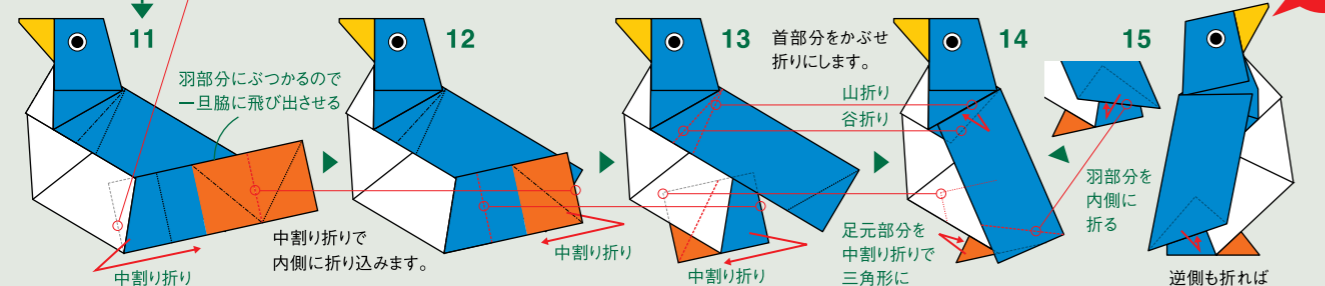
7~8 内側の折り目より、胸元と足元を引っ張り出すように中割り折ります。

9 中割り折りを繰り返します。

10



8~9 引っ張り出した胸元と足元をさらに中割り折りしていきます。



完成!

細長い1枚の紙から生まれるかわいい動物たち：創作折り紙「オリマルくん」 Original animal Origami orimalkun / summer penguin

切りとり線
山折り線
谷折り線

